

企画展のご案内

IAMAS ARTIST FILE #09

〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体



方法公式写真 2004 左から三輪真弘、松井茂、中ザワヒデキ 撮影:井村一巴

展覧会名	IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体
会場	岐阜県美術館 展示室2(岐阜市宇佐 4-1-22)
会期	令和5年10月11日(水)~12月24日(日) 10:00~18:00 ※休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ※夜間開館:10月20日(金)、11月17日(金)は20:00まで開場 ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料金	一般 340(280)円 大学生 220(160)円 高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料
主催	岐阜県美術館 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
協力	IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト
助成	公益財団法人 花王 芸術・科学財団

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1314(学芸部) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>

広報担当:後藤正行
担当学芸員:西山恒彦
西田 創



県美術館
Web サイト

美術館の情報を発信しています



公式Facebook



公式Instagram



公式Twitter

E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本展覧会について

IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体

ゼロ年代初頭の芸術運動「方法主義」は、同時代芸術を批判し、原理や規則に因る絵画・詩・音楽を発表しました。岐阜県美術館と情報科学芸術大学院大学[IAMAS]の連携事業である「IAMAS ARTIST FILE #09」では、IAMAS 教員2名(三輪眞弘・松井茂)がメンバーとして参加した「方法主義」の軌跡を辿り、その活動を再考します。

90年代初頭に「バカCG」という日本初のへたうまコンピュータ・グラフィックスで一世を風靡した中ザワヒデキは1997年「純粋芸術家」に転身し、当時の快楽的ポストモダニズムの芸術的状况に対抗する禁欲的で還元主義的な「方法絵画」作品群を発表し始めます。方法主義の提唱者である中ザワヒデキは、20世紀中葉のフォーマリズムによる諸芸術分断への批判として方法への還元を主張し、総合芸術としてではない諸芸術の連携を推し進めようとしてきました。4名の方法主義者たち(中ザワヒデキ、足立智美、松井茂、三輪眞弘)による野心的な芸術運動は、2000年1月1日の「方法主義宣言」(第一宣言)に端を発し、1990年前後のポストモダニズムを背景とする「なんでもあり」の状況に確固たる「アンチ」の立場を唱えるなか、2004年12月31日に幕を下ろします。

本展覧会は、「方法」の活動終焉からおよそ20年が経過した今日の芸術の状況において、その活動の軌跡の意義を振り返ります。「方法」によって撒かれた芸術表現の萌芽は、現代のわたしたちに何を残したのでしょうか。あるいは、ポスト・ポストモダンである同時代芸術がなおその快楽的多様性ゆえに袋小路に陥っているのだとすれば、その打開策すら提案できるに違いありません。

「われわれ方法主義者は、放縦と怠惰を学芸にもたらした自由と平等を懐疑し、倫理としての論理を復権する。」(「方法主義宣言—方法絵画、方法詩、方法音楽」、2000年1月1日)

方法主義重要事項略年譜

- 2000.1.1 方法主義第一宣言
- 2000.2.29 機関誌「方法」第一号刊行
- 2000.9.2 「方法鼎談二〇〇〇」掲載(週刊「図書新聞」)
- 2000.12 「方法鼎談二〇〇〇→二〇〇一」掲載(「美術手帖」2001年1月号)
- 2001.1.1 方法主義第二宣言
- 2000.3.10-11 第一回方法芸術祭(北九州市立美術館)
- 2002.1.1 方法主義第三宣言
- 2002.1 機関誌「方法」の英語化
- 2002.4.14, 28 第二回方法芸術祭(阿佐ヶ谷ギャラリー倉庫)
- 2003.1 機関誌「方法」の新フォーマット化
- 2004.5 「方法マシン趣意書」発表
- 2004.6 「方法マシン」始動
- 2004.12.31 機関誌「方法」最終号、活動終焉

展覧会の見どころ

作曲家・三輪眞弘の情報科学芸術大学院大学(IAMAS)退任記念展としての一面

IAMAS で1996年より教鞭をとってきた三輪眞弘が2023年度をもって退任します。本展覧会は、IAMAS ARTIST FILE #01として2013年に当美術館で開催された個展「逆シミュレーション音楽の世界」よりちょうど10年、三輪眞弘の作曲の原点であるアルゴリズム・コンポジションの作品化を後押しした方法主義時代の活動を余すところなく振り返ります。三輪眞弘は、2007年アルス・エレクトロニカのデジタルミュージック部門にてゴールデンニカ賞(グランプリ)受賞、芥川作曲賞(2004)、芸術選奨文部科学大臣賞(2010)、サントリー音楽賞(2021)ほか数多くの賞を受賞し、「逆シミュレーション音楽」と名付けられた独自の作曲法に基づく音楽作品は世界中で高く評価されてきました。三輪は2002年に足立智美と入れ替わりで方法主義者となり、方法芸術を身体を介して実現するグループ「方法マシン」の活動を通じて自身の理念を作品化してきました。本展覧会では、その軌跡を、記録映像、楽譜、テキスト、そのほかの資料で包括的に振り返ります。ゴールデンニカ賞受賞作(映像)や一部長編作品も上映します。どうぞこの機会に、三輪眞弘の音楽芸術の世界をご堪能ください。

4名の方法主義者の作品が一挙に集う、またとない機会

方法主義者(中ザワヒデキ、足立智美、松井茂、三輪眞弘)は、活動の途中で足立智美と三輪眞弘が入れ替わっており、4名が同時にメンバーとして活動した期間はありません。本展覧会は、中ザワ・足立・松井・三輪それぞれの方法主義的作品をひとつづきにご覧いただける貴重な構成です。絵画、詩、音楽というそれぞれの領域で活動しつつ、「方法」においては、この領域はある意味で侵食し合っていました。空間を満たす多様な「方法」作品は、絵画であり、詩であり、音楽であり、規則であり、楽譜であり、アルゴリズムであります。現在は別々に国際的に活躍する4名の作家のクロッシング・ポイントを垣間見ることができます。

詩を「展示する／しない」ことの模索

本展覧会は、三輪眞弘に加え、詩人・松井茂が IAMAS 教員として出展します。松井茂は2000年に方法同人となり、漢字の「一」「二」「三」から成る「純粹詩」や5日ごとにメール配信される「量子詩」を書き続けています。展示室に置かれたコンピュータは2002年以来松井が配信している「量子詩」を会期中受信し続けます。展示では、先述の「純粹詩」に加え「同時並列回路」と名付けられた方法詩もまた展示空間に「出力」され「作品化」されています。基は規則であるゆえに(不)可能であるその多様な出力について、「詩作」の本質を問う展示をお見逃しなく。

数々の貴重な当時の作品、再演・再制作！

本展覧会では、2000-2004年とその前後に制作された当時の作品に加え、本展覧会のために再制作・再演される数々の作品を披露します。足立智美の「方法音楽第9番」では、当時発表された立体楽譜のインスタレーションを再制作し、展示します。方法提唱者である中ザワヒデキは「文字座標型絵画」作品群より当時制作されたライトボックスやキャンバスを複数点出展します。《15個の滑車と6個の重りのあるロープ第一番》はインスタレーションとシミュレーションでお楽しみいただけます。また、「盤上布石絵画」や「n 個の変曲点のある単一曲線」の作品群も複数出品され、見ごたえのある展示となっています。三輪眞弘作品のコンサート(12月9日美術館にて)、最終日12月24日に開催されるパフォーマンスもお見逃しなく。

出品作家について

足立智美(1972-) パフォーマー、作曲家。方法主義の起草に関わり、2001年まで参加。音響詩、即興演奏、器楽作曲、テクノロジーを駆使した多岐にわたる表現を通じて、独自の実験音楽を追求する。

中ザワヒデキ(1963-) 美術家。90年代のバカCG期を経て2000年に方法主義を提唱、方法主義者となる(-2004)。2010—2012年、新・方法主義者。2016年「人工知能美学芸術宣言」に端を発する人工知能美学芸術研究会(-現在)。著書『近代美術史テキスト』『現代美術史日本篇』他

松井茂(1975-) 詩人、情報科学芸術大学院大学教員。2000年から04年まで「方法」同人。「純粹詩」(2001~)「量子詩」(2002~)などを制作。詩集に『Cycle 自転車をめぐる散文詩の試み』(engine book、2023年)など。

三輪眞弘(1958-) 作曲家、情報科学芸術大学院大学教員。2002年より方法主義に参加し、後に方法芸術を身体運動を通して実現する「方法マシン」を結成。方法主義によって生み出された音楽創造の方法論「逆シミュレーション音楽」を提唱。佐近田展康とのユニット・フォルマント兄弟の兄。

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]とIAMAS ARTIST FILE

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]は、科学的知性と芸術的感性の融合を目指した学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、未来社会の新しいあり方を創造的に開拓する「高度な表現者」を養成するとともに、学術文化の向上及び地域の振興に寄与することを目的に、岐阜県が2001年に開学した大学院大学です。(HP引用)

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]と岐阜県美術館との連携事業「IAMAS ARTIST FILE」は2013年に始まり、本展で第9回目となります。これまで開催した展覧会は以下のとおりです。

- 2013年 #01 三輪眞弘「逆シミュレーション音楽の世界」
- 2014年 #02 前田真二郎・齋藤正和「記録と行為/映像表現の現在形」
- 2015年 #03 BEACON(伊藤高志・稲垣貴士・KOSUGI+ANDU・吉岡洋)「LOOK UP」
- 2016年 #04 ALIMO・若見ありさ「描く・動く/芸術とアニメーション」
- 2017年 #05 前林明次「場所をつくる旅」
- 2020年 #06 クワクボリョウタ・会田大也「みるころみるかえりみる」
- 2021年 #07 木村悟之・萩原健一・堀井哲史「ウィデオー/からだと情報」
- 2022年 #08 福島諭「記譜、そして、呼吸する時間」

■ 関連プログラム

■岐阜おおがきビエンナーレ 2023 〈方法/Method〉

日時:2023年12月7日(木)—12月10日(日)

会場:情報科学芸術大学院大学(ソフトピアジャパンセンタービル4階)、岐阜県美術館

登壇者:池田拓実、岡田暁生、さかいれいしう、篠原資明、中ザワヒデキ、園羽山園、松井茂、三輪眞弘、安野太郎、吉岡洋ほか(モデレータ:大久保美紀)

備考:申込不要、プログラム詳細は「岐阜おおがきビエンナーレ2023」ウェブサイト
(<https://www.iamas.ac.jp/biennale23/>)をご確認ください。



岐阜おおがきビエンナーレ
2023ウェブサイト

内 容：「方法／Method」をテーマに「岐阜おおがきビエンナーレ2023」を開催します。中ザワヒデキによる基調講演（「方法主義について」（仮題））、三輪眞弘・岡田暁生・吉岡洋による鼎談、篠原資明・松井茂によるセッション、「方法マシン同窓会」の四つのディスカッションが予定されています。「方法主義」の理解が深まる機会になります。また、開催期間中（12月7日（木）－10日（日））、IAMAS 学内会場にて方法作品の展示・再演を予定しています。

プログラム：

12月7日（木）14:00－17:00 シンポジウム「方法／Method」（中ザワヒデキによる基調講演）
12月8日（金）14:00－17:00 三輪眞弘音楽芸術鼎談（岡田暁生、三輪眞弘、吉岡洋）
12月10日（日）13:00－15:00 篠原資明×松井茂対談
15:00－17:00 「方法マシン同窓会」

《岐阜県美術館が会場の関連プログラム》

◆ナンヤローネ アートツアー

日比野克彦アートコミュニケーション作品《Such Such Such》を体験し、展示作品の魅力を味わいます。

日 時：2023年11月19日（日）14:00－15:30

会 場：岐阜県美術館 多目的ホール、展示室

備 考：申込み方法などの詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。



岐阜県美術館 Web サイト

◆「三輪眞弘作品の再演コンサート・トークイベント」

日 時：2023年12月9日（土）14:00－16:00

会 場：岐阜県美術館、多目的ホール

出 演：福井麻衣（ハープ）、東野珠実（箏篋）、三輪眞弘（作曲者）、岡田暁生（コメンテータ）

演 目：「すべての時間」「蟬の法」

備 考：申込不要、プログラム詳細は「岐阜おおがきビエンナーレ2023」ウェブサイト

（<https://www.iamas.ac.jp/biennale23/>）をご確認ください。

内 容：作曲家・三輪眞弘が方法主義者として作曲した二作品の再演コンサートを行います。



岐阜おおがきビエンナーレ
2023ウェブサイト

◆「方法作品の再演」

日 時：2023年12月24日（日）15:00－17:00

会 場：岐阜県美術館、多目的ホール

出 演：IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト、中ザワヒデキ、足立智美、三輪眞弘

備 考：申込不要、会場にお越しください。詳細は「IAMAS ARTIST FILE #09」ウェブサイト

（<https://www.iamas.ac.jp/af/09/>）をご確認ください。

内 容：方法作品の再演を行います。



IAMAS ARTIST
FILE#09 ウェブサイト

その他関連情報

□「方法主義者へのインタビュー」

日 時:2023年10月11日(水)以降随時

URL:「IAMAS ARTIST FILE #09」ウェブサイト(<https://www.iamas.ac.jp/af/09/>)

内 容:IAMAS ARTIST FILE #09 および「岐阜おおがきビエンナーレ 2023」のディレクターである大久保美紀(IAMAS 教員)が4名の方法主義者にインタビューを行います。内容は会期中ウェブサイトにて公開されます。

□作家在館情報

中ザワヒデキ:10月11日(水)、12月9日(土)、12月24日(日)

三 輪 眞 弘:10月11日(水)、12月9日(土)[コンサート時間帯]、12月24日(日)

足 立 智 美:12月24日(日)

※変更及び追加情報は「IAMAS ARTIST FILE #09」

(<https://www.iamas.ac.jp/af/09/>)をご覧ください。



IAMAS ARTIST
FILE#09 ウェブサイト

■ 同時開催

- ◆「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.15 トザキケイコ」
公開制作:2023年10月11日(水)~2023年11月5日(日)
作品展示:2023年11月11日(土)~2023年12月3日(日)
- ◆「越山若水が育んだ美—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—」
2023年10月14日(土)~2023年12月3日(日)
- ◆「ルドンコレクションから:黒との会話」
2023年9月20日(水)~2023年12月24日(日)
- ◆「さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編」
2023年10月11日(水)~2023年12月24日(日)
- ◆「林武史《石間》 安藤基金コレクションから」
2023年10月11日(水)~2023年12月24日(日)
- ◆「フォームーやきものから」
2023年11月14日(火)~2024年3月3日(日)
- ◆「走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代」
2023年12月19日(火)~2024年2月18日(日)

岐阜県美術館 企画展

IAMAS ARTIST FILE #09

〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体

広報画像貸出申込書

FAX 送信番号:058-271-1315



貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名:)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送(月号)/発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

 はい 画像データ到着希望日(月 日) いいえ(写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	方法公式写真 2004 左から三輪眞弘、松井茂、中ザワヒデキ 撮影:井村一巴
<input type="checkbox"/>	②	方法公式写真 2000 左から足立智美、松井茂、中ザワヒデキ 撮影:福永綾子
<input type="checkbox"/>	③	三輪眞弘+小笠原則彰《あたりさま人形》2003
<input type="checkbox"/>	④	中ザワヒデキ《二三字三九行の文字座標型絵画第三番》1999 撮影:黒川未来夫 (みそにこみおでん氏所蔵)
<input type="checkbox"/>	⑤	中ザワヒデキ《三五目三五路の盤上布石絵画第一番》1999 撮影:黒川未来夫

■ 広報画像一覧

①



②



③



④



⑤



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。